



## 保育参観・講演会

7日(土)は参観・講演会を行います。

乳児：9:30～ 各保育室  
幼児：10:00～各保育室

講演会：10:45～5階ホール

講演会は、比治山大学非常勤講師の新宅博明先生にお越しいただく予定です。子育てにたくさんヒントをくださったり、心がホッと温かく、軽くなるとても内容の濃い講演会になることでしょう。ぜひ、おいでください。



**敬老の日**は昭和41年から国民の祝日(9月17日)に加えられ、平成15年に9月の第3月曜日になった比較的新しい祝日です。「多年にわたって社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う日」だけでなく、すべての国民が高齢福祉について、関心と理解を深める日であると言えます。

核家族で、家庭の中でおじいさんやおばあさんと接する機会が少ない子どもにとって、行事を通して成長した姿を見てもらうことは意義あることだと思います。また、子育てで悩むことがあれば、知恵をもらったり、お手伝いをお願いするのも、親子にとって良い結果につながることもあるのではないのでしょうか。

当園では、9月25日(水)に地域の老人会の方々をお招きして、年長児と敬老会を行います。



## お願い

お迎え後、園庭や公園で遊んでいる姿が多く見られます。第二園舎駐車場、第一園舎横駐車場は、長く止められますと、他の保護者の方が駐車することができず、渋滞を引き起こす原因となります。駐車は、送迎時のみの利用でお願いします。



## 平成25年 9月の園だより

### 生命の大切さについて

今年の夏は、ことのほか猛暑の日が長く、山陰や東北地方では大雨や水害が発生するなど、地球温暖化がますます心配になってきました。

8月25日の夏祭りは、天幕を張るなど雨対策をしているうちに雨が上がり、予定通り開催することができました。大勢の皆様に参加して頂きましたこと、深く感謝申し上げます。

同時開催のれんこん祭りが内容を縮小したため、出店の数が少なく、お客が園の方に来たため、用意した食べ物が早く売り切れたり、食べる場所が足りないなどご迷惑をおかけしたことなど、来年に向けての反省になりました。

さて、9月は大きな行事もなく、次の作品展にむけての準備に入ります。数年前、大阪の私立幼稚園連盟会長安家周一先生が、「幼稚園の先生の役割は、この時期に経験してほしいと思っていることを、偶然のようによそおって経験させることです。子どもたちが思っていることや、何をしがっているのかを察し、それとなくその気にさせる。それが小学校の先生との指導の違いなのです。」と言っておられました。

先般も広島で17歳の少女が仲間を集団で暴行し殺すという事件がありました。事件の根底には、すきんだ生活と命への無知が感じられます。数年前のこと、久留米筑水高校の高尾忠男先生の「命の教育・心の教育」と

題する教育実践がテレビで放映され話題を呼んだことがありました。先生は、現代の若者が命に対する価値観を欠落させ、悲惨な事件を起こしていることに危機感を持たれ、命の尊さや重さを体験させるために、高校1年の生徒に、ひよこの飼育～解体～試食という授業を取り入れられ、生徒に卵を孵化させ、毎日えさを与え、世話をし、成長したら解体して食べさせるものでした。自分について呼ばば寄ってくるにわとり鶏を殺さなければならぬ生徒の苦悶する様子が印象的でしたが、授業を受けた生徒が、「つらい経験だったけど、命をいただいているという思いが強くなり、いただきますと素直に手を合わせるようになった」と言っていました。

相手に対する思いやりや、命の存在に気づくには、しっかり可愛がられて他人が好きになることと、生きているものとふれあうことや、愛するものとの別れなどの実体験が必要ですが、現在では、うさぎや昆虫、植物の栽培以外には、生命にふれる機会も少なく、身内の死に向き合うこともまれになりました。

鶏の飼育・解体は無理ですが、ご家庭でも、子どもの事故や事件があったときは、その子の親の気持ちや、気をつけなければならないことの注意、生命の大切なことなどを話した後で、「貴方がいてくれて、うれしいよ」と言ってあげてください。

園長

## 子育て応援コラム

子どものだだこね、こだわりにお困りではありませんか?

乳児期の子どもは(時に幼児でも)、要求を泣いたり、だだをこねたりして、身体で表現します。また身体だけでなく、「〇〇がほしいの!」と言葉でも表現し、実現するまでこだわるのが特徴です。

では、このような時、どのように接していけばよいのでしょうか。

### ○「受け流す」のではなく「受け止める」

子どもとのかかわりで大切なのは、「受け止めて返す」ということです。しかし、実際には、「受け流して」いる場合が多いようです。

その違いは…

「受け流す」…子どもが「いや」と言えば「やらなくていいよ」と言い、「これがほしい」と言えば与える。子どもの言いなりになる関係

「受けとめる」…子どもの要求を「あなたはこうしたいんだね」と言葉で共感的に意味づけ直し、行動の背後にある願いへの理解を示す関係

コツは子どもが言った事を、「少しゆっくりめ」に「小さな声で返す」ことです。そして、自我を受けとめられる心地よさが味わえるようにすることが大切です。ぜひ、実践してみてくださいね。

参考「心の育ちと対話する保育の本」

## 災害に備えましょう!

平成23年3月に東日本大震災という未曾有の天災がありました。未だに原発の問題が解決できていません。わが国は世界有数の地震国であるということ、その他にも毎年のように被害をもたらす台風、豪雨、豪雪、冷害、津波など災害についての認識を深め防災に対処する心の準備をしておきましょう!



9月1日 防災の日  
9日 救急の日

消さないで  
あなたの心の  
注意の火

広島市南消防署 警防課 救助係